

発電所事故及び自然災害想定

訓練月日 平成29年10月16日(月) ※住民避難は28日に実施

訓練災害事象 地震及び放射性物質放出に伴う災害対応

訓練対象発電所 東京電力ホールディングス株式会社

福島第一原子力発電所1号機

項目	内容
① 16日 [9:00] 地震発生	[地震発生]福島県沖を震源とした最大震度6弱の地震が観測された。(発電所立地町でも震度6弱) 【訓練開始前の想定】
② 16日 [11:40] 警戒事象発生 (EAL1)	福島第一原子力発電所の1号機使用済燃料プール冷却系停止及び燃料プール水の漏えいが発生した。 【訓練開始前の想定】
③ 16日 [13:25] 10条事象発生 (EAL2)	1号機燃料プール水位が集合燃料頂部の上位2mまで低下(原災法10条 SE31該当)
④ 16日 [14:10] 15条事象発生 (EAL3)	復旧活動は継続しているが、原因の特定及び復旧(燃料プールの水位維持)が出来ず、水位低下が継続し、集合燃料頂部まで水位低下を確認した。 (原災法15条 GE31該当)
⑤ 16日 [14:40] 20 μ Sv/h計測	浪江町内において、空間線量20 μ Sv/hを計測
スキップ(24時間後の同時刻より再開)	
⑥ 17日 [14:40] (OIL2該当)	20 μ Sv/h超の計測が続いているため、OIL2に該当すると判断。

プール水の漏えいによる進展

放射性物質放出による進展

※1 浪江町住民参加の避難訓練は28日(土)に実施するが、訓練想定としては、「10月17日以降のある日時」とする。

※2 燃料プールの水位低下及び燃料集合体露出と、浪江町で20 μ Sv/h超が計測されることの関連性は不明。(訓練目的である「緊急事態の進展における防護措置の判断」及び「OILに基づく避難」実動のため、このような事故想定を作成していることに留意されたい。)